

日経 DVD 仕事と介護の両立のために ～ワークライフバランス～

研修教材としての本 DVD 利用ガイド

監修：佐藤博樹・松浦民恵

制作：日本経済新聞出版社

本 DVD は第 1 部（ドラマ編）と第 2 部（解説編）から構成されており、第 1 部と第 2 部の間にディスカッションを行う形になっています。研修教材として利用する場合は、研修の目的や時間に応じて、主に次のような使い方が考えられます。

【1】 60 分枠の研修

全て視聴（約 46 分）+ 自社の仕事と介護の両立支援制度の説明（約 10 分）

【2】 80 分枠の研修

第 1 部（約 23 分）+ ディスカッション（約 30 分）+ 第 2 部（約 23 分）

【3】 90 分枠の研修

第 1 部（約 23 分）+ ディスカッション（約 30 分）+ 第 2 部（約 23 分）
+ 自社の仕事と介護の両立支援制度の説明（約 10 分）

ディスカッションのテーマは以下です。

対象が一般社員の場合は①③のみ、管理職の場合は②④のみに限定しても構いません。

- ① 篠崎が退職を考える前に取るべきだった行動とは？
- ② 篠崎に退職を相談される前に上司として取り組んでおくべきだった大西部長の対応とは？
- ③ 佐山が介護に直面する前に取るべきだった行動とは？
- ④ 佐山に介護休業取得を相談される前に上司として取り組んでおくべきだった小暮部長の対応とは？

第 1 部のドラマを視聴しただけでは、具体的な解決策についてまで議論が深まらない可能性があります。まずは介護の課題を自分のこととして捉え、考えてみていただくことが重要です。

また、ディスカッションが、実際に自分が不安に思っている、あるいは実際に直面している介護の課題について話せるきっかけになることも期待されます。職場単位で研修を行えば、介護の課題について話しやすい職場風土づくり、職場における具体的な対応策の検討にも有効かもしれません。

第 2 部（解説編）で、佐山が母親から状況を聞き取る際に使用した『【6】＜従業員用＞「親が元気なうちから把握しておくべきこと」チェックリスト』（介護に直面する前に、従業員が親の状況等を確認・記録するためのチェックリスト。親や他の家族と一緒に、将来の親の介護について考えるためのツールとしても利用できる）は、厚生労働省「企業における仕事と介護の両立支援実践マニュアル【事業主向け】」の URL からダウンロードできます。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/model.html

利用規約（<http://www.mhlw.go.jp/chosakuken/>）を遵守したうえでご活用ください。

以上